

# 地球のワクワク！発見しよう こどもエコクラブ

私が主役！なかまと一緒に未来をつくる

2014 年度 事業実施報告書



公益財団法人日本環境協会  
こどもエコクラブ全国事務局

## はじめに

持続可能な社会を実現するためには、国民一人ひとりが環境への関心と理解を深め、問題解決力を養い、具体的に行動することによって、ライフスタイルを環境負荷の少ないものに転換していく必要があります。そのためには、環境教育・環境学習の推進、特に次世代を担う子どもたちに対する環境保全活動・環境学習の場や機会の提供が大変重要となります。

弊協会では、環境省の後援及び文部科学省のご支援の下、地方自治体や企業・団体と連携を図りながら、子どもたちの環境活動を支援する「こどもエコクラブ事業」を実施・運営しており、これまでに延べ約 210 万人の子どもたちが参加し、地域の大人たちとともに環境活動を行っております。平成 26 年度は、2,199 クラブ、105,904 人の子どもたちがそれぞれの地域で環境活動を行いました。

本事業は、子どもたちの活動内容や活動レベルに合わせたサポートをすることで、子どもたちの環境を大切にすることを養うとともに地域の環境活動をリードする人材を育成すること、子どもたちの活動により地域の大人を巻き込むことでその活動や環境への意識が地域に根付き、「地域保全のための力」の向上につながることを目的としています。

本報告書は、平成 26 年度の本事業の取組をまとめたものです。「環境」を合言葉とした子どもたちをつなぐ全国的なネットワークであり、地域を育み、日本を元気にしていく取組でもある「こどもエコクラブ」を多くの皆様にご理解いただき、平成 27 年度には 20 周年を迎える本取組にご参加いただけたら幸いです。

# 目次

◎ はじめに	2
◎ 事業の目的	4
◎ 事業概要	5
◎ クラブの活動内容	6
◎ 実施体制	7
◎ 事業報告	9
○ 子どもたちの環境活動・学習のきっかけ作り	9
(1) クラブ募集に関する広報	
(2) 活動普及に関する広報	
(3) 応援企業・団体の意見交換会の実施	
(4) クラブの登録・情報管理	
(5) 活動サポートツールの作成・配付、賠償責任保険の加入	
(6) メンバーズバッジ等の販売	
○ 環境活動・学習の活性化促進	15
(1) ニュースレター「JEC プレス」の作成・配付	
(2) ウェブサイトでの情報提供	
(3) 「活動フォトコンテスト」による活動報告の促進	
(4) 子どもたちの活動に対するフィードバック	
(5) All Japan Youth Eco-club (こどもエコクラブ OB・OG 会)の活動	
(6) 企業・団体等からの支援の募集・紹介	
(7) サポーター、コーディネーター向けメール配信	
○ 環境活動・学習の意欲の向上、ステップアップ	20
(1) 活動をまとめた壁新聞・絵日記の募集、顕彰	
(2) こどもエコクラブ全国フェスティバルの企画、実施	
(3) 地域交流会の企画、実施、サポート	
○ 被災地に緑と心の復興を！Project-D	27
○ いきものみつけファーム	28
◎ 地方自治体の取組事例	30
◎ 協賛・協力いただいた企業・団体	34
◎ 登録データ	35
◎ 壁新聞・絵日記 受賞作品	39

## 事業の目的

子どもたちの環境保全活動や環境学習を支援する「こどもエコクラブ」は、子どもたちが人と環境の関わりについて幅広い理解を深め、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の環を広げることを目的とし、幼児(3歳)から高校生までの子どもたちを対象に、子どもたちの自主的な環境活動をサポートしています。

### 事業のねらい

1. 子どもたちの自主性を大切に、子どもたちが持っている多様なポテンシャルを引き出しながら、環境を大切にする心と行動力を育むこと
2. 周囲の大人や地域の多様な主体が参加して、子どもたちをサポートしながら多彩な環境保全活動の環を広げ、地域の環境保全の力を高めていくこと

### こどもエコクラブ憲章

1. 私たちは、生命を生み、育んでくれる『水と緑の惑星・地球』を愛し、未来に引き継ぎます。
2. 私たちは、自分たちの暮らしや身のまわりの環境に関心を持ち、地球とともに生きていくための努力を続けます。
3. 私たちは、世界中のなかまと、手をたずさえて、地球を守るために活動を続けます。私たちは、夢を忘れずに、夢を追い続けます。



## 事業概要

### ◎子どもたちの環境活動・学習のきっかけを作ります

個人やグループが環境活動を行うきっかけとして、クラブを募集し、登録管理等を行います。

- ・こどもエコクラブの募集・広報（ポスター・パンフレットの配布）
- ・クラブの登録・情報管理
- ・活動サポートツールの作成・配布、広報ツール等の貸し出し

### ◎環境活動・学習の活性化を促します

活動に役立つ情報やプログラム等の提供、全国各地のクラブの活動を紹介し、活動の活性化を図ります。

- ・ニュースレター（JEC プレス）、環境活動プログラム、環境情報等の提供
- ・ウェブサイト・メールインフォメーションによる活動に役立つ情報の提供
- ・子どもたちの活動に対する有識者からのアドバイスのフィードバック
- ・企業との連携イベントやコンテストの実施

### ◎環境活動・学習の意欲の向上、ステップアップにつなげます

活動の振り返りやまとめる機会を提供し、クラブの交流・発表の場を設け、これまでの活動を称えることで、今後の意欲の継続・発展につなげます。

- ・日頃の活動を簡易に報告する場の提供
- ・年間の活動をまとめた壁新聞・絵日記の募集、審査
- ・活動発表・交流の機会の提供（全国フェスティバルおよび地域交流会の実施、自治体イベント等の案内）
- ・子どもたちへの顕彰（環境大臣賞・文部科学大臣賞・企業賞等の授与）

- ・子どもたちの活動内容やそのレベルに合わせたサポートにより、環境を大切に  
する心を養うとともに、将来の地域の環境活動をリードする人材を育てます。
- ・地域の大人たちが関わることで、地域に根差した環境活動への発展につながり、  
地域全体での環境保全を促進します。

## クラブの活動内容

子どもたちの興味・関心に基づき、地域の特性や環境を活かしながら多彩な活動を繰り広げています。

### ◎ 自然観察・保全活動

自然豊かな山・川・森で、地域の中の自然観察、生き物調査、下草刈り等、自然に親しみ・守る活動



### ◎ 3R・清掃活動

リサイクル工作、クリーン活動、環境に配慮したクッキング等、日々の暮らしの中で身近にできるエコ活動



### ◎ 農業・栽培

田植え・野菜栽培等の農作業や、花壇作り・育苗等の栽培活動



### ◎ 交流・発表

地域での交流会への参加、活動発表等

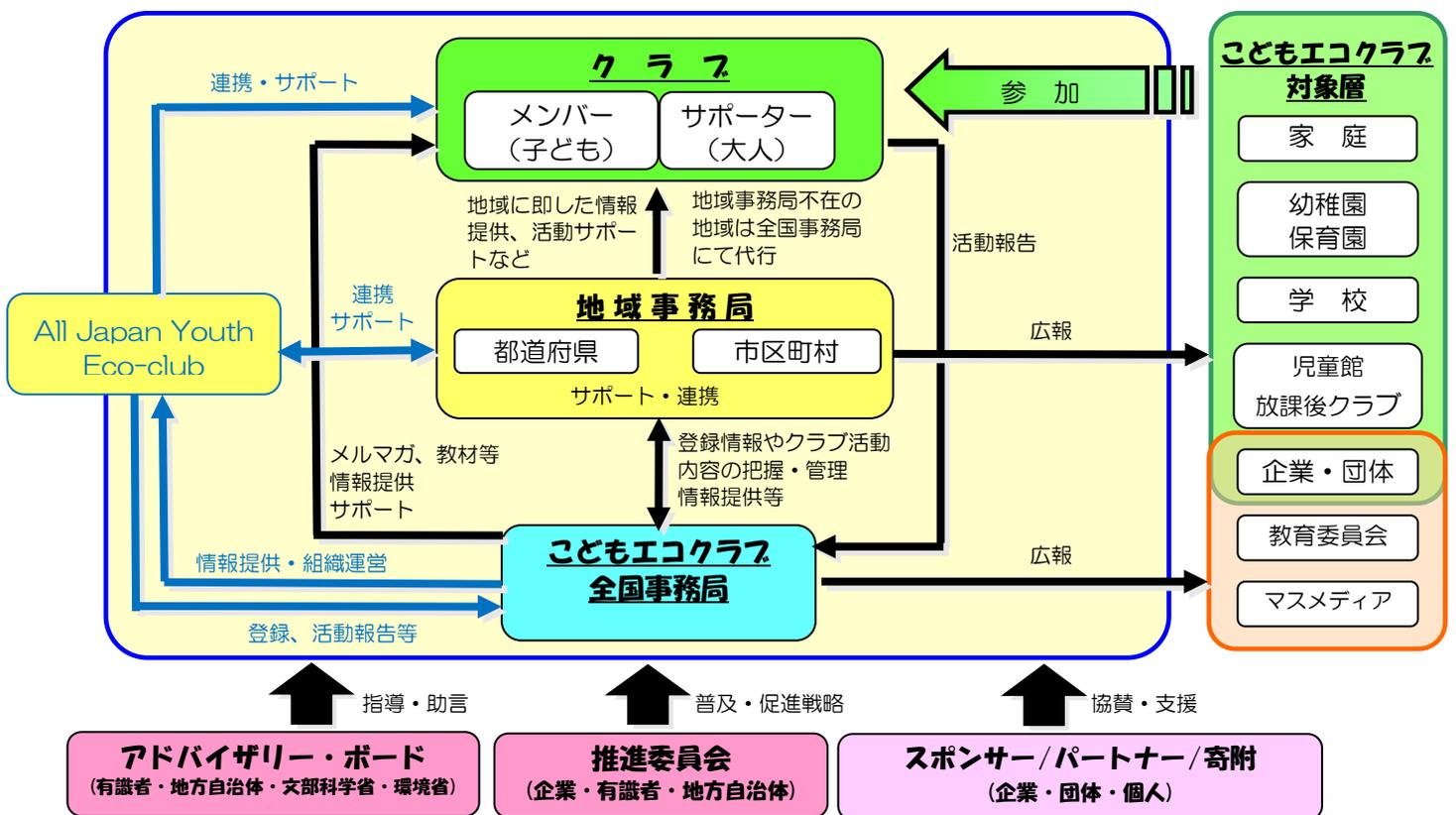


## 実施体制

本事業は、子どもたちの環境活動を応援する企業・団体からの支援を受け、全国の地方自治体と連携し、環境省及び文部科学省の担当部局の参画・指導・助言をいただきながら実施しています。

また、本事業は「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」第21条の6（協働取組に対する情報提供等）に基づく協働取組として、環境省が公表しています。

さらに、協働取組促進のために協定の締結や具体的取組などについて、参考となる先導的な事例を形成し、協働取組のノウハウを普及・共有することを目的とした、環境省の平成25年度「地域活性化を担う環境保全活動の協働取組推進事業」の全国事例として採択され、様々な主体と連携した協働取組を推進しました。



### アドバイザー・ボード

環境教育に関する有識者及びNPO関係者、環境省等関連行政機関、地方公共団体の環境教育担当部局担当者等によって構成され、本事業の運営に関する事項について助言やアドバイスを行う。

（委員長：公益社団法人こども環境学会 理事 小澤 紀美子氏）

### 推進委員会

こどもエコクラブ事業に関わるコーディネーター、協賛協力企業・団体、有識者等によって構成され、本事業の普及・促進戦略にかかる方策等の協議・検討を行う。

（委員長：株式会社三井住友銀行 取締役会長 北山 禎介氏）

## 地域事務局(地方自治体)

こどもエコクラブの子どもたちを応援する地方自治体(都道府県・市区町村)に、こどもエコクラブの窓口を設置していただいています。

※平成 26 年度 地域事務局数 47 都道府県、403 市区町村 地域事務局一覧 P36-38 参照

## スポンサー/パートナー

こどもエコクラブで活動する子どもたちを応援する企業・団体・個人により、協賛・協力等さまざまなご支援をいただいております。

環境省より、環境教育等促進法に基づく協働取組として本事業を公表されました。

また、環境省・文部科学省より環境教育等支援団体の指定を受けました。

The screenshot shows two pages from the Environment Ministry website. The top page is titled '協働取組に対する情報提供等' (Information provision for cooperation groups) and lists cooperation groups. The bottom page is titled '環境教育等支援団体の指定 指定状況' (Designation of environmental education support organizations) and lists designated organizations.

No	協働主体	協働取組の名称	掲載・更新日	実施取組のHP等
1	環境ビジネスウィメンが5者	エコビジネスの芽を見つけて育てるプロジェクト <a href="http://www.eco-bizwomen.com/">http://www.eco-bizwomen.com/</a> [PDF:2136日]	平成25年3月	<a href="http://www.eco-bizwomen.com/">http://www.eco-bizwomen.com/</a>
2	(財)日本環境協会	こどもエコクラブHP <a href="http://www.jecoclub.jp/">http://www.jecoclub.jp/</a> [7/26日]	平成25年4月	<a href="http://www.jecoclub.jp/">http://www.jecoclub.jp/</a>

No	指定時期(年月)	団体の名称	支援事業の名称	主催者
1	H26.3	特定非営利活動法人地球環境保全協会	太陽が光る子ども向け環境エッセンス 主一教材及び環境教育普及啓発事業	環境省 文部科学省
2	H26.3	資源と環境の教育を考える会「エコが見える学校」	資源と環境の教育の普及促進事業	環境省 文部科学省
3	H26.9	特定非営利活動法人環境カウンセラー千葉県協議会	地域定着した環境保全活動と環境教育支援事業	環境省 文部科学省
4	H26.9	公益財団法人日本環境協会	こどもエコクラブ	環境省 文部科学省
5	H27.2	特定非営利活動法人自然体験学校	自然体験活動及び環境教育プログラムの提供 および指導者の育成 研修事業	環境省 文部科学省

出典:環境省ウェブサイト

# 事業報告

## ◎子どもたちの環境活動・学習のきっかけ作り

### (1)クラブ募集に関する広報

本事業に賛同して地域事務局として登録した地方自治体および関係方面に、クラブの募集ポスター・パンフレットを希望数配布しました。また、希望する自治体には版下用データを送付し、地域事務局名を入れた独自のポスターを制作できるようサポートしました。なお、パンフレットについてはこどもエコクラブウェブサイト内でも掲載し、適宜ダウンロードすることができるようにしました。



2015 年度ポスター



2015 年度パンフレット

### (2)活動普及に関する広報

本事業の周知を図るために、広報用ツールの貸出、環境関連イベントへの出展や実施、Facebook等を活用した広報活動を行いました。

◎地方自治体等に、広報ツール(エコまる旗、前年度に子どもたちが年間の活動をまとめた壁新聞、エコまる着ぐるみ、事業紹介パネル等)の貸出

(旗:20ヶ所、パネル:8ヶ所、エコまる着ぐるみ:12ヶ所、壁新聞18ヶ所、絵日記3ヶ所)。



壁新聞



エコまる旗・着ぐるみ



事業紹介パネル

新潟県と連携して、UX新潟テレビ21「スーパーJチャンネル」内で県の広報番組「ほっとホット新潟」での募集告知、新潟県内コンビニエンスストアにて募集ポスター掲示



◎国、自治体、企業等が実施する環境イベントの出展

【国主催】



未来へつなごう！  
おかやま ESD ふれあい広場  
(岡山県岡山市)



「あいち・なごや ESD 交流フェスタ」久屋広場会場・白鳥会場(愛知県名古屋市)



エコライフ・フェア 2014(東京都渋谷区)

エコプロダクツ 2014(東京都江東区)

【自治体主催】



SAITAMA 環境フェア & どもエコフェスティバル (埼玉県)



いちかわ環境フェア 2014 (千葉県市川市)



環境活動フェス 2014 (東京都中央区)

【企業・団体主催】



丸の内キッズジャンボリー2014(東京都中央区) 体験ブース出展およびアトラクションの実施



エコチルまつり (北海道札幌市)



ATC どもエコクラブワークショップ (大阪府大阪市)



どもエコクラブピカイチ・フォトin仙台 (宮城県仙台市)

【全国事務局主催】



登録クラブのない自治体にて、活動・広報イベントの実施(左:東京都三鷹市 右:東京都中野区) ※「西武環境保全活動助成金」の助成を受けて実施

◎様々な媒体による事業広報



こどもエコクラブの効果的な広報を目的として、イメージ動画を作成して様々なイベント時に上映しました。



環境省「エコジン」2014年10・11月号



金融広報中央委員会 知るぽると「くらし塾 きんゆう塾」2014夏号



こども環境学会学会誌「こども環境学研究」vol.10, No.1 広告掲載



全国信用金庫協会「信用金庫」2014年10月号



◎環境省 フォトレポート



◎FacebookやTwitterなどSNSを活用した事業概要や子どもたちの活動を紹介



Facebook「いいね！」600件(2015. 3. 31)



各地域担当別 Twitter  
地域に合わせた情報を発信

### (3) 応援企業・団体の意見交換会の実施

多くの方に子どもエコクラブについて賛同・支援いただけるよう、子どもエコクラブ応援企業・団体の意見交換会を実施しました。企業・団体が行っている本事業への支援内容について事例発表いただき、企業・団体同士の交流を推進するとともに、子どもエコクラブ事業について理解を深めていただきました。なお、環境省・文部科学省の環境教育に携わる方々にもご挨拶をいただきました。



日時:平成 26 年 9 月 19 日(金) 15:00~17:00  
会場:経済産業省別館 3 階 312 号会議室  
主催:環境省、公益財団法人日本環境協会

### (4) クラブの登録・情報管理

環境活動を行う幼児(3歳)から高校生の子どもと、子どもたちの活動を支援する大人(サポーター)で構成したクラブの登録を受け付け、一元的な情報管理を行いました。

※クラブの個人情報は弊協会プライバシーポリシーにのっとり、適切に管理しています。

平成 26 年度の登録数は、クラブ数:2,199 クラブ、メンバー数:105,904 名、サポーター数:18,847 名で、これまでの延べ登録メンバー数は約 210 万人となりました。

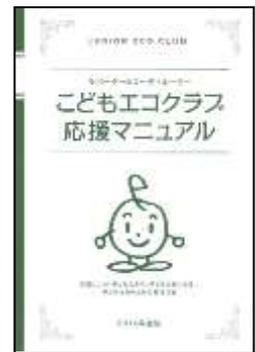
※都道府県別登録数、学年内訳等は、P.35「登録データ」を参照。

## (5)活動サポートツールの作成・配付、賠償責任保険の加入

子どもたちの活動への意欲・継続意識の促進を目的として、日頃の活動を記録するメンバー手帳(80,000部)を作成、希望するメンバーに配付しました。また、大人向けに事業趣旨や活動時の支援内容等を記載した「応援マニュアル」(3,000部)を作成、登録クラブに配付しました。



日々の活動を記録する「メンバー手帳」



事業の趣旨・活動時の支援内容を記載した「応援マニュアル」

また、登録受付と同時に、クラブのメ

ンバー・サポーターを対象とした賠償責任保険に加入し、クラブの活動におけるリスクマネジメントのサポートを行いました。

## (6)メンバーズバッジ等の販売

子どもたちのメンバー意識の醸成と活動に対するモチベーション向上を目的として、またバッジ販売での収入を子どもエコクラブ事業の運営資金として活用させていただくことを前提に、イメージキャラクター「エコまる」をデザインしたメンバーズバッジ等を

希望するクラブに100円/個として有料販売しました。

平成26年度のグッズ販売数は計214個、収入は21,400円となりました。



メンバーズバッジ



エコまるシャープペンシル

なお、平成27年度は事業20周年を記念して、希望する登録メンバー・サポーターに無償で配布する予定です。



2015年度20周年記念メンバーズバッジ

## ◎ 環境活動・学習の活性化促進

### (1) ニュースレター「JEC プレス」の作成・配付

全国で活躍する各クラブの活動紹介や生き物の不思議さなどを掲載したニュースレター（タブロイド版、カラー4色、4ページ）「JEC プレス 2014年10月号」（7万部）「JEC プレス 2015年2月号」（6万部）を発行し、希望するメンバー、サポーター、地方自治体に配付するとともに、ウェブサイトに掲載しました。

制作に際しては、「読売 KODOMO 新聞」と連携し、JEC プレス発行時期に合わせて当該新聞に折り込みを入れることで、「読売 KODOMO 新聞」読者（全国約 21 万人）に対しても、こどもエコクラブの広報を行って、メンバーを募集しました。



JEC プレス 2014年10月号

JEC プレス 2015年2月号

### (2) ウェブサイトでの情報提供

ウェブサイトをリニューアルして、クラブから届く活動報告を大きく表示して、どもたちの活動の様子をより際立たせました。あわせて、ページ全体構成を整理し、各種情報にアクセスしやすくしました。また、クラブの継続登録をウェブサイトから行う機能を追加し、登録を容易にしました。



こどもエコクラブ <http://www.j-ecoclub.jp/>

また、各クラブの活動の様子を伝える活動レポート、コーディネーター・サポーターによる現場のご意見や子どもたちと活動したナマの声を掲載する「リアルヴォイス」、子どもたちが1年間の活動をまとめた壁新聞に対して環境分野の有識者によるアドバイスをする「壁新聞道場」等、子どもたちの生き生きとした様子や活動の現状、子どもたちにかかわる大人の悩みや抱負、環境関連イベントやプログラム情報など、クラブの活動の発展・充実につながる情報を随時掲載しました。

平成26年度に寄せられた活動レポート数は1,075件です。



クラブの活動レポート



リアルヴォイス



壁新聞道場

### (3)「クラブ活動フォトコンテスト」による活動報告の促進

活動レポートと一緒にクラブから寄せられる写真を活用したフォトコンテスト(協賛:ニコン)を3期に分けて実施・表彰して、クラブの活動報告を盛り上げると同時に、受賞作品を広報資料に掲載するなど写真を活用して元気に活動する子どもたちの様子をアピールしました。

また、3月末に実施した全国フェスティバルにおいて、1期～3期の全ての入賞作品を展示して、全国フェスティバルの全参加者による投票を行い、年間賞を確定・表彰を行いました。

#### ○平成26年度 受賞作品



平成26年度子どもエコクラブ賞



平成26年度 ニコン賞



全国フェスティバルでの投票の様子

#### (4)子どもたちの活動に対するフィードバック

子どもたちの活動の発展、継続意欲の向上を目的として、様々なフィードバックを行いました。

◎クラブの活動報告や年間の活動をまとめた壁新聞に対して、環境に知見のある有識者(弊協会の子ども環境相談室・相談員等)による今後の活動の発展につながるコメントやアドバイスを送付しました。

#### <報告・コメント例>

##### ○活動報告「学校菜園・水質浄化」

・昨年、菜園に建てた竹長屋を解体し、農具置き場にリニューアルと学校の中校舎側の池の水を採取して炭入りと池の水を水質パックテストして比較しました。



〈24 時間後〉	COD	NH4	NO2	NO3
池	6	0.2	0.005	1
炭入り	5	0.1	0.001	0.23

##### 参加者のようす

・4種類の水質パックテストを行いました。NH4 が一番色の比較ができました。

**感想・気づいたこと・考えたこと**・今回は、自然素材の炭を利用し浄化作用の比較を目で見ることができました。この結果を踏まえて次に繋げて行きたいと思います。

・この結果から池の水や校区内にある(長野堰土地改良区)農業用水と連携し水質の浄化活動を行いたいと思います。(炭利用)

##### ○コメント

##### 【メンバーの皆さんへ】

高崎北小エコクラブ・地球防衛隊のみなさん、活動報告をありがとうございました。竹炭による水質浄化の成果が分かったようですね。地元で焼いた竹炭を使い、地元の池や用水路をきれいにするというのは、大変いい活動です。竹炭を池や用水路のどこに、どのように入れると効果的かを考えるとよいでしょう。また、炭は使っていると目詰まりして浄化能力が落ちます。使い終わった炭は、砕いて土壌改良材にすると、土まで元気になります。炭は消臭効果もあり、空気もきれいにすることができます。身近な環境を炭できれいにするというのもいいですね。



★【壁新聞通読!】たのも——う! 職員 其の3

壁新聞はみんなの活動の記録だけでなく、その中から地域を盛り上げる活動も紹介しています。よろしくお読みください!

大津市「大津市子ども会ジュニアリーダークラブ KIDS」

大津市「大津市立菟田北中学校 科学部」

津市「志摩幼稚園 エコ探検隊」

多賀町「多賀町アストロクラブ」

★かべ新聞をクリックすると大きな画像で見られるよ★

##### 師範から一言!

大きな見出し「びわこエコ新聞」が一番先に目に入ります。同時に中央に琵琶湖の地形を入れた6段組みの構成もとても目を引く、すぐれた表現と思いました。

右上には琵琶湖の紹介、さらにその下の自己紹介では、この会の成り立ちだけでなく、小学生対象のジュニアリーダー研修会を開いて後輩を育てていることにおどろきました。大人の会でもそこまでは用意されていないことが多いのです。これは会が続いていくためには大切な働きですので、今後も続けて下さい。

この新聞で取り上げているのは「びわ湖エコフィッシング」という名前で、三つの目的も新聞の上段にははっきりと示されています。字が小さかったけれど読んでみると、みんなの感動や発見を見つけることができました。

さらに福井県まで出かけて磯観察をしていますね。身近な自然も重要ですが、遠くに行くとまた変わった自然を観察することができます。新聞にもあるように「生きものっておもしろい」という気持ちが学びになると書いていますが、そのとおりです。自然はいつもとてもやさしく、わかりやすく、私たちに自然を教えてください。そのことに気がついただけでも、福井県まで出かけた成果だと思います。是非この感動をおうちの人や友だちにも話してあげて下さい。

##### とっておきのゴジドウ★

このかべ新聞には、大きく分けて5つの記事が掲載されていますが、手書き文字を追いかけると、中央部分が大きく空いているために文章のつながりを見失う心配があります。そこでそれぞれの記事を色違いの色紙の上にも書いてはりつけるとまとまりがでます。すこし手間がかかりますが、色紙を選ぶことによってきれいにする工夫ができます。

◎子どもたちの活動を称える「アースレンジャー認定証」を作成し、1年間に5回以上の活動を報告したメンバー(3,569名)に授与しました。

また、3年間継続活動をしているメンバー(653名)には銀バッジを、6年間継続活動をしているメンバー(374名)には、金バッジを授与しました。

※年間5回以上の活動報告を行い、申請があったメンバーに授与。



認定証/金・銀バッジ

### (5) All Japan Youth Eco-club (こどもエコクラブ OB・OG 会)の活動

こどもエコクラブを通してこれまでに環境活動を行ってきた子どもたちのネットワークを築き、環境活動・環境学習の充実・発展を目的に、現在のクラブのサポートおよびユースメンバー同士の交流、イベント等の企画を行うなど、様々な主体との協働活動を進めています。

今年度は、クラブのサポーター同士の交流・情報交換を目的としたサポーター交流会を主催し、企画運営に大いに力を発揮しました。また、全国フェスティバル(P21 参照)においても、プログラムのファシリテートや進行を元気にサポートしてくれました。

○開催日:平成27年3月7日(土) 10:30~16:00

○場 所:自然科学研究機構国立天文台(東京都三鷹市大沢 2-21-1)

○主 催:All Japan Youth Eco-club、公益財団法人日本環境協会

○参加者:高校生4名、大学生2名、社会人3名 合計9名

○主なプログラム:国立天文台ガイドツアーおよび最新の観測手法や環境に関するお話  
各クラブの活動発表、質問・交流タイム



## (6) 企業・団体等からの支援の募集・紹介

子どもエコクラブへの支援や連携協力を企業・団体等に呼びかけ、活動に役立つ教材の提供やコンテスト等の支援情報をとりまとめました。とりまとめた情報は、ウェブサイトやメールを通してサポーターやコーディネーターに紹介し、クラブ活動の活性化を図りました。

### ■教材等の提供(例)



UNEP 広報誌「TUNZA」日本語版  
地球友の会



「植物図鑑等」  
三菱 UFJ 環境財団

### ■コンクール等の実施(例)



「ミツバチの一枚画コンクール」  
山田養蜂場



「子どもエコ絵画コンクール」  
ブリヂストン

## (7) サポーター、コーディネーター向けメール配信

全国事務局からのお知らせ、全国各地のイベント、子ども向け環境コンクール情報、環境活動に役立つ情報等を、適宜サポーターおよびコーディネーター宛にメールで配信しました。

(サポーター向けメール配信: 49 回(地方限定版: 21 回)、コーディネーター向けメール配信: 28 回)

また、事業を支援する企業・団体向けに、事業のトピックスやニュースをメールで配信しました。

(企業・団体向けメール配信: 6 回)

## ◎ 環境活動・学習の意欲の向上、ステップアップ

### (1) 活動をまとめた壁新聞・絵日記の募集、顕彰

子どもたちが1年間の活動で感じたことなどを振り返る機会や新しい発見を得るきっかけとすること、子どもたちの活動を多くの方に知ってもらえるツールとして活用することで、子どもたちの自信や活動意欲の向上を図ることを目的に、全国のクラブに対しては活動をまとめた壁新聞を、個々のメンバーに対しては絵日記を募集しました。

また、子どもたちが作成した壁新聞・絵日記を「独創性」、「発展性」、「アピール力」、「地域への密着度」を選考基準として、環境教育にかかわる有識者による「事前選考委員会」及び有識者、環境省担当官、企業担当者等からなる「選考委員会」にて審査を行いました。事前選考委員会では、全国フェスティバル(後述)に参加する各都道府県の代表クラブ及び幼児部門の優秀クラブを選定し、選考委員会では環境大臣賞、文部科学大臣賞、日本環境協会賞、協賛企業賞等を選定しました。

#### ■ 壁新聞・絵日記募集概要

○ 募集期間: 平成26年10月～平成27年1月9日(金)

○ 対象: 全国のこどもエコクラブ

○ 仕様: 壁新聞—模造紙大、縦横自由

絵日記—A3サイズ、縦

○ その他: 複数枚数の応募可能

#### ■ 募集結果

○ 壁新聞 応募数: 255枚

○ 絵日記 応募数: 377枚

#### ■ 審査結果

○ 受賞壁新聞・絵日記 P.39-42 参照



◆ 環境大臣賞(壁新聞)

### (2) こどもエコクラブ全国フェスティバルの企画、実施

各地域で子どもたちが展開している活動の紹介を通して、環境保全活動の定着・拡大を促し、環境人材の育成を図ることを目的として、全国フェスティバルを企画・実施しました。活動をまとめた壁新聞で選ばれた都道府県代表クラブ、審査員推薦クラブ、絵日記で選ばれた受賞者が全国フェスティバルに参加し(旅費の一部を全国事務局にて負担)、子どもたちの活動発表・交流や環境に関する企業・団体展示コーナーの見学、環境大臣賞等の表彰等を行いました。

全国フェスティバルのメインプログラムでは、子どもたち自身の視点から「こどもエコクラブ大賞」を選ぶプログラムを行い、参加した子どもたちが日頃の活動を自分たちで発表しあうとともに全国各地のクラブ同士の交流を深めました。また、企業・団体によるブースを回り、企業・団体が行っている環境への取り組みを学びました。さまざまな刺激を受け今後の活動意欲が高まった子どもたちは、これからの活動の発展や充実を目指し、活動を継続していこうと皆で誓い合いました。

なお、実施に際しては、早稲田大学にご協力をいただき、環境に関心のある学生に子どもたちのサポートを担当してもらうなど、しっかりと連携体制にて対応しました。

## ■こどもエコクラブ全国フェスティバル 2015

- 開催日：平成 27 年 3 月 29 日(日)
- 会場：早稲田大学 西早稲田キャンパス理工学術院 63 号館(東京都新宿区大久保三丁目 4-1)
- 主催：公益財団法人日本環境協会(こどもエコクラブ全国事務局)
- 後援：環境省、文部科学省、厚生労働省、独立行政法人国立環境研究所、  
公益社団法人こども環境学会、全国小中学校環境教育研究会、  
公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、NHK
- 協力：早稲田大学、株式会社ニコン、日本コカ・コーラ株式会社、株式会社ミールケア、  
三井不動産株式会社、株式会社龍角散
- 出展団体・企業：
  - 東洋ライス株式会社、株式会社イトーキ、株式会社エフピコ、
  - 王子ホールディングス株式会社、トヨタ自動車株式会社、文化シヤッター株式会社、
  - 公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、三井化学株式会社、
  - 三井住友海上火災保険株式会社、株式会社三井住友銀行、
  - エコマーク事務局
- 参加者：507 名
  - ・都道府県代表クラブ：38 都道府県 342 名（子ども 191 名、大人 151 名）
  - ・審査員推薦クラブ：2 県 6 名(子ども 4 名、大人 2 名)
  - ・絵日記受賞メンバー：11 名（子ども 6 名、大人 5 名）
  - ・一般参加クラブ：10 名(子ども 1 名、大人 9 名)
  - ・こどもエコクラブ自治体担当者：17 名 ・企業・団体担当者：57 名
  - ・早稲田大学学生環境 NPO 環境ロドリゲス他 関係者：64 名

### ○プログラム：

時間	プログラム	展示物
8:30～ 9:30	◆集合、受付	
9:30～10:00	◆オープニングセレモニー はじまりのあいさつ/楽しくエコを考える演劇パフォーマンス(みーる劇団)	
10:00～10:30	◆交流タイム「クラブ de ビンゴ！」 時間内にできるだけたくさんの仲間と名刺交換、集めた名刺のクラブ名をビンゴシートに書いて、いくつのビンゴがそろうか競争	・全国から届いた壁新聞と絵日記の展示
10:30～12:05	◆こどもエコクラブ大賞 予選 6つのチームに分かれて、壁新聞をもとにクラブの活動を発表しあい、チーム内で投票してチーム No.1 クラブを決定 ◆絵日記チーム：絵日記を書いた仲間とのディスカッションとワークショップ	・活動フォトコンテスト受賞作品展示・年間賞投票
12:05～12:20	◆企業・団体の紹介 ・こどもエコクラブを応援している企業・団体を紹介 ・企業・団体ブースで展示している環境に優しい取り組み内容の紹介	・こどもエコクラブ応援企業・団体一覧
12:20～13:50	◆昼食 ◆企業団体の環境への取り組みを学ぼう	
13:50～14:05	◆集合写真撮影	
14:05～14:20	◆午後のオープニング 楽しい歌のステージ(ソプラノ歌手・雨谷麻世さん)	・早稲田大学学生環境 NPO 環境ロドリゲス紹介
14:25～15:20	◆こどもエコクラブ大賞 本選 予選でチーム No.1 になった 6 つのクラブがステージで活動発表。参加者全員が一番良かったクラブに一人一票投票し、「こどもエコクラブ大賞」を決定	
15:25～15:30	◆来賓挨拶 環境大臣政務官 高橋ひなこ氏	
15:30～16:10	◆表彰式 壁新聞・絵日記をもとに選ばれた各賞の授与	
16:10～16:30	◆クロージング	

《全国フェスティバルの様子》



《参加した子どもたちからの活動レポート》



## 《絵日記受賞メンバーのワークショップ》

全国フェスティバルのプログラムとして、絵日記の受賞メンバーは、日本環境協会「こども環境相談室」相談員・岡本さんのファシリテートのもと、それぞれの絵日記をもとにしたディスカッションを行い、講評を受けたり質疑応答をしたりしてそれぞれの印象深い活動を振り返りました。



## ■幼児部門受賞クラブに対して「ミールケア・エコまる賞」の授与

壁新聞の幼児部門で「ミールケア・エコまる賞」を受賞したクラブに対して、こどもエコクラブキャラクター「エコまる」がクラブを訪問し、表彰式と『エコまるエコ教室』を行いました。エコ教室の実施にあたっては、クラブの要望を事前にヒアリングして、幼児でも楽しみながらエコについて考えることができるエコクイズやうちわを使ったエコ宣言プログラムなどを企画しました。また、県・市の地域事務局の方にも広報等のサポートや表彰式での挨拶、当日の参観などをいただき、密接な連携を築きました。

### □青森県十和田市「(学)さつき学園 認定こども園 さつき幼稚園」

- 実施日：平成 27 年 3 月 10 日(火) 9:30～12:00
- 場所：(学)さつき学園認定こども園 さつき幼稚園(青森県十和田市)
- 参加者数：子ども 144 名、大人(保護者・関者)40 名 合計 184 名



### □大阪府高槻市「ひじりがおかほいくえん レインボーズ 2014」

- 実施日：平成 27 年 3 月 17 日(火) 9:30～12:00
- 場所：芝谷聖ヶ丘保育園(大阪府高槻市)
- 参加者数：子ども 80 名、大人 14 名 合計 94 名



### (3) 地域交流会の企画、実施、サポート

地域で環境活動を行っている子どもエコクラブの子どもたちが集い、各々の活動紹介等を通じて相互の交流を深めるとともに、地域の環境活動の活性化を目的とした交流会を各地で開催しました。開催にあたっては、地方自治体、企業・団体等と連携協力して行いました。

また、自治体主催の地域交流会に参加するなど、自治体の要望に合わせてサポートしました。

#### ■子どもエコクラブ ESD フォーラム in 愛知

- 開催日：平成 26 年 8 月 9 日(土) 13:00～16:00
- 場 所：愛知県名古屋市(SMBC パーク栄)
- 主 催：子どもエコクラブ全国事務局(公益財団法人日本環境協会)
- 後 援：環境省、「持続可能な開発のための教育の 10 年」推進会議(ESD-J)
- 協 賛：トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行、株式会社龍角散
- 参加者数：子ども 53 名(海外の子ども含む)、大人 74 名 合計 127 名
- プログラム：クラブの活動発表 & お国自慢、マイうちわを作ってエコ宣言



#### ■子どもエコクラブ岡山フォーラム・交流会 ～わたしたちの ESD～

※台風の影響により「子どもエコクラブ & ESD フォーラム in 岡山」を中止し、台風が過ぎ去った 15 時からプログラムを変更して「子どもエコクラブ岡山フォーラム・交流会～わたしたちの ESD～」を開催

- 開催日：平成 26 年 8 月 10 日(日) 15:00～17:00
- 場 所：岡山県岡山市 Junko Fukutake Hall (岡山大学鹿田キャンパス内)
- 主 催：子どもエコクラブ全国事務局(公益財団法人日本環境協会)、公益社団法人岡山東法人会
- 共 催：一般社団法人岡山県法人会連合会、おかやま子どもエコクラブを育てる会
- 後 援：環境省、「持続可能な開発のための教育の 10 年」推進会議(ESD-J)、岡山再生資源事業協同組合、
- 参加者数：子ども 31 名、大人 68 名 合計 99 名
- プログラム：クラブの活動発表、ESD 世界のクイズ！想いでつなごう！！おりがみアクション、未来へつなぐメッセージ、マイうちわをつくってエコ夏を！



## ■こどもエコクラブ ESD フォーラム in 東京

- 開催日:平成 26 年 8 月 13 日(水) 10:00~12:30
- 場 所:東京都中央区 中央区立環境情報センター
- 主 催:こどもエコクラブ全国事務局(公益財団法人日本環境協会)
- 後 援:環境省、東京都、中央区、「持続可能な開発のための教育の 10 年」推進会議(ESD-J)
- 協 賛:株式会社きんでん、株式会社東京国際フォーラム、東京建物株式会社
- 参加者数:メンバー48 名、サポーター42 名 合計 90 名
- プログラム:クラブの活動紹介、エコまるビンゴ、マイうちわをつくってエコ宣言!、エコクイズ  
※同時期に実施された「丸の内キッズジャンボリー2014」と連携して実施。



## ■自治体・全国事務局主催の地域交流会

[こどもエコクラブ中国地方交流会]

- 開催日:平成 26 年 8 月 17 日(日)~18 日(月)
- 場 所:鳥取県立大山青年の家(鳥取県大山町)
- 主 催:鳥取県・こどもエコクラブ全国事務局(公益財団法人日本環境協会)
- 参加者:中国地方(鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)のこどもエコクラブ 9 クラブ  
メンバー30 名、サポーター等大人 30 名 合計 60 名



[幼児指導者研修:こころ豊かな子どもを育む 環境活動・環境教育 実践紹介]

- 開催日:平成 27 年 2 月 20 日(土)
- 場 所:学校法人恵愛学園 恵泉幼稚園(新潟県新潟市)
- 主 催:新潟県・こどもエコクラブ全国事務局(公益財団法人日本環境協会)
- 参加者:新潟県内の幼稚園教員、保育士、他指導者、自治体担当者 合計 60 名



■自治体・団体主催の地域交流会



こども環境会議ちば  
(千葉県)



こどもエコクラブ in おかやま活動発表会  
(岡山県)



こどもエコクラブ交流会 in 中部&近畿  
(愛知県一宮市)



群馬県こどもエコクラブ交流会  
(群馬県)



とよたこどもエコクラブ交流発表会  
(愛知県豊田市)



草津市こども環境会議  
(滋賀県草津市)

この他にも、地方自治体の独自主催による「こどもエコクラブ交流会」等が全国各地で実施されています。P.30-33 参照。

## ◎被災地に緑と心の復興を！ Project-D

平成 23 年の東日本大震災で大きな被害を受けた森林や樹木の再生をテーマに、こどもエコクラブを始めとする全国の子どもたちが、①被災地復興のため心をついに協力する ②遺伝子の攪乱を防ぎ、生物多様性に配慮した森林再生を行う ③子どもたちの環境、地域づくりへの理解を深めるとともに、事業に参加するこどもエコクラブのサポーターや企業担当者等の環境人材の育成を図ることを目的とした事業を、平成 23 年度から実施しています。

平成 26 年度は、公益社団法人国土緑化推進機構、協賛企業とタイアップした4年次目の事業として、全国で育てた苗木を被災地域の住民や子どもたちが参加する植樹や新たな植樹地の開拓を行いました。

具体的には、佐賀県の幼稚園児が育てた苗木約 100 本を宮城県名取市に、横浜市の小学校で育てた苗木約 50 本を福島県いわき市で植樹をしたほか、福島県で森づくりを行っている公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会に、苗木を贈呈しました。

また、福島県南相馬市及び郡山市において新たな植樹地を確保し、平成 27 年度から順次植樹する準備を始めました。

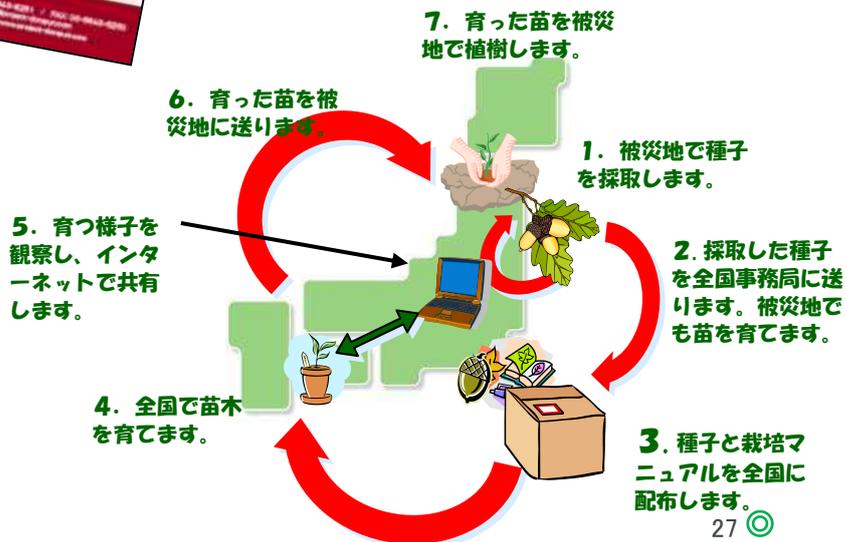
さらに、「みどりの感謝祭」、「エコプロダクツ 2014」「企業・NPO 等参加による「海岸林再生活動」説明会」等の環境イベントにおいて本事業の広報活動を行うとともに、専用のウェブサイトを通じて事業概要や参加者の活動状況を発信しました。



広報用展示パネル



植樹イベントの様子



## ◎ いきものみつけファーム

平成 23 年度より地方自治体、企業、生産者、大学、NPO、子どもエコクラブが協働することによって、環境保全型の農業をベースとして「食と農」を結びつけた自然体験、食育等の環境教育を総合的に行う体験学習の場を地域に作ることを通じ、生きものと共存する農業と環境への負荷の少ない経済(グリーンエコノミー)からなる持続可能な社会の発展・構築を目的として「いきものみつけファーム」を実施しています。

平成 26 年度は、長野県松本市、秋田県大仙市、滋賀県甲賀市の各推進協議会の下、生物観覧会、収穫、流通体験などが実施されました。また、山梨県中央市と長野市で新たに推進協議会を設立し、各地で体験行事を行いました。

さらに、沖縄県、千葉県などでいきものみつけファーム推進協議会設立に向けた勉強会等の働きかけを行いました。

このほか、滋賀県においては、全国の協議会および実施を検討している自治体・団体が一堂に会するいきものみつけファーム全国交流会を開催し、延べ約 200 人の参加がありました。

### ■いきものみつけファーム in 松本



田植イベント



稲刈り・脱穀体験



流通体験

### ■いきものみつけファーム in 大仙おぼこ



幼児の生き物観察



東京の学校に出前授業



稲刈り体験

### ■いきものみつけファーム in 滋賀



田植



協議会発行のニュース



芋掘りイベント



全国交流会の開催

■いきものみつけファーム in ながの



開設記念の除幕式



ジャガイモ収穫



味噌作りのための豆脱穀

■いきものみつけファーム in 山梨中央



東京の子ども達も一緒に稲刈り



サツマイモ収穫



収穫したイモで焼き芋作り

# 地方自治体の取組事例

地方自治体においても、さまざまな形でこどもエコクラブを推進しています。

## (1) こどもエコクラブ関連記事(紹介・募集)の掲載

### ◆地域の広報紙・ウェブサイト



東京都青梅市 広報おうめ



兵庫県伊丹市 広報いたみ



千葉県千葉市 環境情報紙エコライフちば



神奈川県大和市 ウェブサイト



大阪府 ウェブサイト

### ◆地域の環境白書等



北海道 環境白書



静岡県沼津市「市民生活と環境」



鳥取県 環境白書

◆地域の子どもエコクラブ関連発行物



群馬県 サポーターズ・ニュース



千葉県 子どもエコネットちば



鹿児島県 ニュースレター

◆その他実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
北海道	—	千葉県	市川市	長野県	飯田市	兵庫県	加古川市
北海道	室蘭市	千葉県	船橋市	長野県	佐久市	兵庫県	奈良市
青森県	—	千葉県	浦安市	岐阜県	岐阜市	鳥取県	—
青森県	八戸市	東京都	新宿区	岐阜県	高山市	島根県	浜田市
岩手県	—	東京都	北区	静岡県	—	岡山県	—
宮城県	—	東京都	八王子市	静岡県	沼津市	岡山県	倉敷市
宮城県	石巻市	東京都	武蔵野市	静岡県	富士宮市	岡山県	宇部市
宮城県	気仙沼市	東京都	青梅市	静岡県	富士市	広島県	—
宮城県	登米市	東京都	調布市	静岡県	藤枝市	山口県	山口市
秋田県	—	神奈川県	—	愛知県	—	香川県	—
山形県	—	神奈川県	横浜市	愛知県	一宮市	愛媛県	新居浜市
山形県	福島市	神奈川県	相模原市	愛知県	春日井市	福岡県	—
山形県	郡山市	神奈川県	平塚市	愛知県	豊田市	福岡県	大野城市
山形県	いわき市	神奈川県	茅ヶ崎市	愛知県	江南市	福岡県	太宰府市
茨城県	—	神奈川県	大和市	愛知県	稲沢市	佐賀県	—
茨城県	ひたちなか市	神奈川県	南足柄市	三重県	—	長崎県	—
栃木県	—	神奈川県	綾瀬市	三重県	四日市市	長崎県	佐世保市
栃木県	宇都宮市	新潟県	—	滋賀県	—	大分県	大分市
群馬県	—	新潟県	三条市	滋賀県	草津市	大分県	別府市
群馬県	前橋市	新潟県	柏崎市	京都府	宇治市	宮崎県	—
群馬県	伊勢崎市	富山県	—	京都府	木津川市	鹿児島県	—
埼玉県	—	富山県	高岡市	大阪府	—	鹿児島県	指宿市
埼玉県	川口市	石川県	—	大阪府	高槻市	鹿児島県	霧島市
埼玉県	久喜市	石川県	金沢市	大阪府	寝屋川市	沖縄県	—
埼玉県	白岡市	長野県	—	兵庫県	神戸市	沖縄県	那覇市
埼玉県	寄居町	長野県	長野市	兵庫県	姫路市		
千葉県	—	長野県	松本市	兵庫県	伊丹市		

(2)こどもエコクラブ等 環境イベントの開催



千葉県市川市  
環境フェア 2014 アースレンジャー認定証授与



岐阜県岐阜市  
平成 26 年こどもエコクラブ交流会



熊本県  
こどもエコクラブ壁新聞展表彰式 & 交流会

◆その他実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
北海道	札幌市	東京都	中央区	三重県	—	岡山県	岡山市
岩手県	—	東京都	練馬区	滋賀県	—	広島県	広島市
秋田県	由利本荘市	東京都	青梅市	滋賀県	草津市	広島県	福山市
山形県	—	神奈川県	相模原市	京都府	木津川市	山口県	宇部市
福島県	郡山市	神奈川県	茅ヶ崎市	兵庫県	神戸市	山口県	岩国市
栃木県	—	新潟県	—	兵庫県	姫路市	高知県	—
群馬県	—	福井県	鯖江市	兵庫県	姫路市	高知県	香美市
埼玉県	—	岐阜県	岐阜市	奈良県	—	福岡県	—
埼玉県	加須市	静岡県	—	鳥取県	—	熊本県	—
千葉県	—	愛知県	—	島根県	—	熊本県	八代市
千葉県	市川市	愛知県	豊田市	岡山県	—	沖縄県	—

(3)クラブへのツール等の配付



秋田県 バンダナ



静岡県 交流会参加記念バッジ



静岡県沼津市 修了証

◆その他実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
秋田県	—	千葉県	市川市	静岡県	沼津市	鹿児島県	—
東京都	中央区	静岡県	—				

(4) 子どもエコクラブ活動報告書等の発行・配付



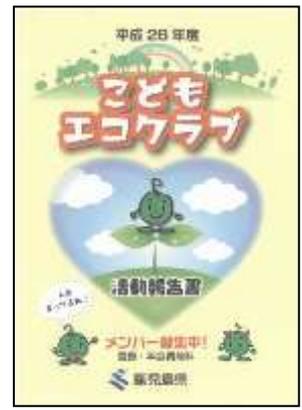
北海道函館市



秋田県



兵庫県姫路市



鹿児島県

◆その他実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
北海道	函館市	栃木県	—	埼玉県	越谷市	兵庫県	姫路市
秋田県	—	群馬県	—	長野県	—	鹿児島県	—
茨城県	—	埼玉県	川越市	三重県	—		

他にも、クラブへの活動助成や活動時の専門家の派遣、地域独自の子どもたちの顕彰、ホームページ、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)等による広報を積極的に行っている地域もあります。

## 協賛・協力いただいた企業・団体

本事業の実施・運営に関して、様々な企業・団体の皆さまからの支援・連携を募り、「スポンサー」「パートナー」「寄附」等により実施・運営を行っております。

### ■スポンサー(2社)

東洋ライス、東京都民銀行

### ■パートナー(パートナー会員とイベント協賛企業・団体)(43社)

アライアンス、イトーキ、エコ・ファースト推進協議会、エフピコ、王子ホールディングス、岡山東法人会、カネパッケージ、キリン、きんでん、コカ・コーラウエスト、清水建設、住商フーズ、全労済、総合ハウジングサービス、高砂熱学工業、高杉製菓、チェンジフィールド、鉄建建設、東京交通会館、東京国際フォーラム、東京建物、東京都民銀行、東芝、東洋ライス、トヨタ自動車、ニコン、西日本ビル代行、日本容器包装リサイクル協会、長谷エコーポレーション、バンダイナムコホールディングス、富国運輸、ブリヂストン、文化シヤッター、ミールケア、三井化学、三井住友海上火災保険、三井住友銀行、三井不動産、三菱地所、山田養蜂場、リッキーシステムソリューション、龍角散、ロックペイント

### ■寄附

本事業全般にかかる業務・基盤となる業務の実施運営に際して、ご寄附をいただきました。

<b>【企業・団体】</b>
キッズステーション
税理士法人東京会計コンサルティング
Tポイント・ジャパン
<b>【個人】</b>
大野里子様、大塚栄次様、村上久美子様      他 11 名

# 登録データ

## 登録推移

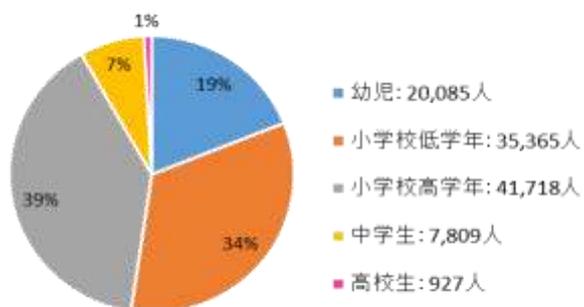


## 平成 26 年度都道府県別登録データ

県名	クラブ数	メンバー数	サポーター数
北海道	26	514	140
青森県	35	1,739	337
岩手県	27	787	218
宮城県	15	424	69
秋田県	33	2,168	247
山形県	4	143	17
福島県	8	238	42
茨城県	57	2,724	376
栃木県	64	5,047	828
群馬県	30	2,268	277
埼玉県	169	14,131	3,140
千葉県	48	3,969	371
東京都	59	1,029	319
神奈川県	77	793	326
新潟県	30	1,053	162
富山県	36	1,092	181
石川県	12	387	140
福井県	13	753	85
山梨県	4	108	25
長野県	35	1,704	272
岐阜県	119	4,243	638
静岡県	92	3,565	1,051
愛知県	136	9,065	1,295
三重県	60	13,302	352

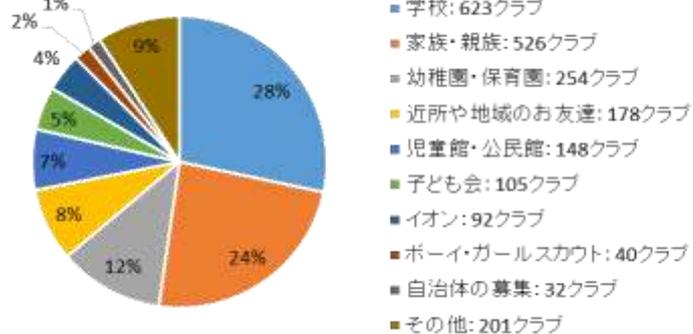
県名	クラブ数	メンバー数	サポーター数
滋賀県	143	5,288	532
京都府	8	284	50
大阪府	37	870	252
兵庫県	294	2,945	1,175
奈良県	20	369	74
和歌山県	6	98	45
鳥取県	82	6,956	1,894
島根県	28	1,433	285
岡山県	32	1,426	336
広島県	53	3,118	666
山口県	22	346	120
徳島県	10	787	120
香川県	4	248	30
愛媛県	11	152	65
高知県	17	276	77
福岡県	62	1,914	531
佐賀県	29	1,661	672
長崎県	16	621	75
熊本県	24	1,207	206
大分県	32	1,281	257
宮崎県	17	609	110
鹿児島県	39	2,164	237
沖縄県	24	605	130
合計	2,199	105,904	18,847

### 登録メンバー 学年内訳



合計：105,904 人

### 登録クラブ形態



合計：2,199 クラブ

■平成 26 年度 地域事務局登録一覧（47 都道府県 403 市区町村）

北海道	札幌市	函館市	旭川市	室蘭市	釧路市	北見市	網走市
	伊達市	石狩市					
青森県	青森市	弘前市	八戸市	五所川原市	十和田市	平内町	外ヶ浜町
岩手県	盛岡市	宮古市	北上市	遠野市	釜石市	奥州市	雫石町
	岩泉町						
宮城県	仙台市	石巻市	気仙沼市	多賀城市	女川町		
秋田県	秋田市	横手市	大館市	由利本荘市	大仙市		
山形県	新庄市						
福島県	福島市	会津若松市	郡山市	いわき市	相馬市	二本松市	伊達市
	会津美里町						
茨城県	水戸市	日立市	土浦市	古河市	龍ヶ崎市	笠間市	取手市
	つくば市	ひたちなか市	守谷市	坂東市	神栖市	東海村	大子町
栃木県	宇都宮市	足利市	栃木市	佐野市	鹿沼市	日光市	小山市
	真岡市	大田原市	矢板市	那須塩原市	さくら市	那須烏山市	下野市
	上三川町	益子町	茂木町	市貝町	芳賀町		
群馬県	前橋市	高崎市	桐生市	伊勢崎市	太田市	沼田市	富岡市
	みどり市	榛東村	片品村	川場村	みなかみ町	大泉町	
埼玉県	さいたま市	川越市	熊谷市	川口市	秩父市	所沢市	飯能市
	加須市	春日部市	狭山市	上尾市	草加市	越谷市	戸田市
	入間市	朝霞市	三郷市	坂戸市	幸手市	鶴ヶ島市	吉川市
	ふじみ野市	三芳町	小川町	寄居町	宮代町		
千葉県	千葉市	市川市	船橋市	松戸市	野田市	茂原市	成田市
	佐倉市	習志野市	柏市	市原市	八千代市	我孫子市	浦安市
	印西市						
東京都	中央区	新宿区	江東区	品川区	世田谷区	中野区	豊島区
	北区	荒川区	板橋区	練馬区	足立区	葛飾区	江戸川区
	八王子市	武蔵野市	三鷹市	青梅市	調布市	町田市	小平市
	東大和市	武蔵村山市	稲城市				
神奈川県	横浜市	相模原市	横須賀市	平塚市	鎌倉市	藤沢市	小田原市
	茅ヶ崎市	厚木市	大和市				
新潟県	新潟市	長岡市	三条市	柏崎市	十日町市	妙高市	上越市
	佐渡市	南魚沼市	粟島浦村				
富山県	高岡市	魚津市	砺波市				
石川県	金沢市	白山市					

福井県	鯖江市	越前市	坂井市	永平寺町
-----	-----	-----	-----	------

山梨県	甲府市
-----	-----

長野県	長野市	松本市	上田市	岡谷市	飯田市	伊那市	茅野市
	佐久市	坂城町					

岐阜県	岐阜市	大垣市	多治見市	関市	恵那市	美濃加茂市	各務原市
	可児市	笠松町					

静岡県	静岡市	浜松市	沼津市	熱海市	三島市	富士宮市	島田市
	富士市	磐田市	焼津市	藤枝市	御殿場市	袋井市	下田市
	裾野市	湖西市	菊川市	牧之原市	川根本町		

愛知県	名古屋市	豊橋市	岡崎市	一宮市	瀬戸市	半田市	春日井市
	豊川市	津島市	豊田市	安城市	蒲郡市	江南市	小牧市
	稲沢市	日進市	東浦町	南知多町			

三重県	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	鈴鹿市	鳥羽市	志摩市
	玉城町						

滋賀県	大津市	彦根市	長浜市	草津市	高島市	日野町	多賀町
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

京都府	京都市	宮津市	木津川市
-----	-----	-----	------

大阪府	大阪市	堺市	豊中市	泉大津市	高槻市	守口市	茨木市
	八尾市	寝屋川市	河内長野市	和泉市	箕面市	高石市	東大阪市
	交野市	阪南市					

兵庫県	神戸市	姫路市	芦屋市	伊丹市	宝塚市	篠山市	たつの市
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

奈良県	奈良市	天理市	桜井市	斑鳩町
-----	-----	-----	-----	-----

和歌山県	和歌山市	海南市	橋本市	有田市	御坊市	田辺市	新宮市
	紀の川市	岩出市	紀美野町	かつらぎ町	九度山町	高野町	湯浅町
	広川町	有田川町	美浜町	日高町	由良町	印南町	みなべ町
	日高川町	白浜町	上富田町	すさみ町	那智勝浦町	太地町	古座川町
	北山村	串本町					

鳥取県	鳥取市	米子市	倉吉市	若桜町	八頭町	湯梨浜町	北栄町
-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----

島根県	松江市	浜田市	出雲市	益田市
-----	-----	-----	-----	-----

岡山県	岡山市	倉敷市	浅口市
-----	-----	-----	-----

広島県	広島市	呉市	福山市
-----	-----	----	-----

山口県	下関市	宇部市	山口市	岩国市	周南市	山陽小野田市
-----	-----	-----	-----	-----	-----	--------

徳島県	徳島市
-----	-----

香川県	高松市	東かがわ市
-----	-----	-------

愛媛県	松山市	西条市
-----	-----	-----

高知県	室戸市
-----	-----

福岡県	北九州市	福岡市	大牟田市	久留米市	飯塚市	柳川市	小郡市
	筑紫野市	春日市	大野城市	太宰府市	古賀市		

佐賀県	佐賀市	唐津市	伊万里市	武雄市	小城市	江北町
-----	-----	-----	------	-----	-----	-----

長崎県	長崎市	佐世保市	諫早市	大村市	南島原市
-----	-----	------	-----	-----	------

熊本県	熊本市	八代市	人吉市	荒尾市	水俣市	宇土市	上天草市
	益城町	芦北町	あさぎり町				

大分県	大分市	別府市	日田市	佐伯市	杵築市	宇佐市
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

宮崎県	宮崎市	都城市	延岡市	五ヶ瀬町
-----	-----	-----	-----	------

鹿児島県	鹿児島市	鹿屋市	指宿市	日置市	霧島市	奄美市	始良市
	瀬戸内町						

沖縄県	那覇市	浦添市	沖縄市	宮古島市	与那原町	南風原町	八重瀬町
	竹富町						

# 壁新聞・絵日記 受賞作品

■壁新聞部門

こどもエコクラブ大賞



タイトル: 高富中学校生物部 (Gyobu)  
岐阜県山県市 高富中学校生物部 (Gyobu)

環境大臣賞

文部科学大臣賞

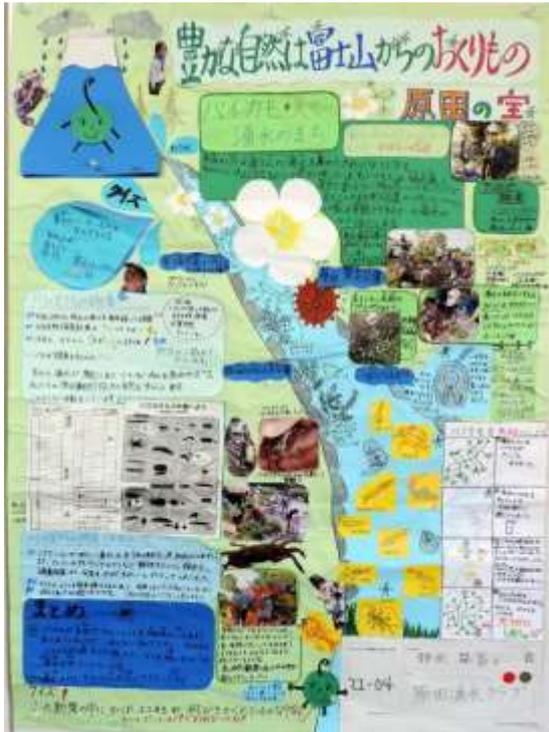


タイトル: さあ 行こう! 芦田川探検  
広島県福山市 めだかの学校



タイトル: ぼくたちとだんぶり池の仲間たち  
～ドキュメント・2014～  
青森県弘前市 HEP21エコクラブ

日本環境協会賞



タイトル:きれいな湧き水は富士山からのおくりもの  
静岡県富士市 原田湧水クラブ

読売新聞社賞



タイトル:未来に残そう オホーツク海の流氷  
北海道北見市 オホーツクエコクラブ

早稲田大学賞



タイトル:わたしらあが地きゆうを守るがやき!!  
高知県香美市 香美市子どもエコクラブ  
なかよしエコクラブ

東洋ライス賞



タイトル:ホタル新聞  
徳島県三好市 ホタルと共に暮らし隊

エコマーク賞



タイトル:地産地消 エネルギー  
兵庫県姫路市 しらさぎチアーズ

幼児部門「ミールケア・エコまる賞」



タイトル:もったいないアースレンジャー  
青森県十和田市 (学)さつき学園認定こども園  
さつき幼稚園



タイトル:ひじりがおかほいくえんレインボーズ新聞  
大阪府高槻市 ひじりがおかほいくえんレインボーズ2014

◆幼児部門について

保育園や幼稚園のクラブなど、メンバー全員が幼児のクラブの壁新聞は、別途幼児部門として審査を行い、上位2クラブに「ミールケア・エコまる賞」を授与しました。受賞した2クラブの活動場所に子どもエコクラブイメージキャラクター「エコまる」が出向いて、子どもたちと一緒に楽しい体験プログラムを行いました。

■絵日記部門 優秀賞



タイトル:大きく育てね  
群馬県前橋市  
「なんきつ子どもエコクラブ」  
小平 玖音さん



タイトル:わらじ祭りせいさくとパケツいね作り  
静岡県御殿場市  
「YKM」  
高村 百合子さん



タイトル:かつら川バードウォッチング  
京都府京都市  
「かつらがわエコキッズ」  
松尾 權さん



タイトル:アユの受精の体験  
兵庫県神戸市  
「玉ーアクアリウム」  
中井 真瞳さん



タイトル:ももの受粉をしたよ  
岡山県津山市  
「わくわくエコクラブ」  
松本 知也さん

地球のワクワク！ 発見しよう

## こどもエコクラブ

私が主役！ なかまと一緒に未来をつくる

こどもエコクラブは、子どもたちが地域で行う継続的な環境活動・学習のクラブです。仲間と一緒に、身近な場所で活動を積み重ねながら、自主的に人と環境とのかかわりを学びます。

### ■子どもたちの「ワクワク！」を応援します

子どもたちが、自然への興味関心をきっかけに、自然を守ることが地球にとって大切なだけでなく、人間の生活にとっても大切であることを知る環境活動・学習を支援します。身の回りの自然からさまざまな発見をし、他の生物同様、生態系の一部である人間の生活に応用することができる。そんな能力を身につけながら育ちます。

### ■子どもたちの「生きる力」を育みます

子どもたちが、エコ活動の意味を本質的に理解できる機会をつくと共に、なかまと一緒に活動することを支援します。身の回りの出来事や定見から、現在の社会とのギャップを自ら見つけ出すことで、未来の理想的な社会と将来の自分を重ね合わせ、社会的な課題を解決できる大人になる。そんな大きな目標を心に宿して育ちます。

### ■子どもたちの「地域を愛する心」を培います

子どもたちの、身近な地域の身近な自然を大切に思う、思いやりの心を育むことを支援します。身の回りの自然からの発見を重ねることで、感受性豊かな子どもたちは、自分のまちのすばらしさを感じ、探求し、愛し、主体的に守ろうとする。そんなまちの博士へと育ちます。



公益財団法人日本環境協会  
こどもエコクラブ全国事務局

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町 1-4-16  
馬喰町第一ビル 9 階

TEL 03-5643-6251 E-mail [j-ecoclub@eic.or.jp](mailto:j-ecoclub@eic.or.jp)